

地域住民の生活を支える人流ネットワークを担うとともに、地域の雇用の担い手となっている旅客自動車運送事業は、中高年層の男性労働力に依存した就業構造となっており、人口が減少していく中、将来的に深刻な労働力不足に陥る懸念がある。

このため、女性や若年層等の新規就労・定着を促進し、旅客自動車運送事業における人材の確保・育成に向けた取組を実施する。

【骨太の方針2014】

第2章

1. (3) 複線的なキャリア形成の実現など若者等の活躍促進
運輸業における人材確保・育成対策を総合的に推進

【日本再興戦略】

第二 3つのアクションプラン

一. 日本産業再興プラン

2. 雇用制度改革・人材力の強化

2-2. 女性の活躍推進/若者・高齢者等の活躍
推進/外国人材の活用

(3) 新たに講ずべき具体的施策
交通関連産業等における人材の確保・育成対策を総合的に推進

女性、若年層等の新規就労・定着を促進するための取組

採用から定着まで
一貫した取組

女性・若年者雇用の
先駆的なモデル事業等

女性・若年層雇用に取り組む先駆的なモデルケースの創出、先進事例等を収集・分析したガイドラインを作成し広く展開を図る。

- 女性、若年層等の新規就労・定着促進などによる人材の確保・育成
- 地域住民の生活を支える人流・物流ネットワークを確保し、地域の活力を維持

交通政策基本計画

- 交通政策基本計画において、2020年までに自動車整備士（2級）の労働者数の倍増が記載。

P. 36 目標③ 交通を担う人材を確保し、育てる

～略～

[51]道路運送事業等に従事する女性労働者数

～略～

④自動車整備士（2級）【2009年度 約2,400人 ⇒ 2020年度 約4,800人】

女性が活躍するための平成27年度 of 取り組み

➤ 活躍している整備士（男性約60名、女性約60名）に、もっと女性整備士が活躍するための意見を収集したところ、女性は男性に比べて体力がなく、力が弱いなどの意見が多くあった。

➤ 平成27年度に実施する労働環境及び女性が活躍するための調査及び有識者による検討会において、女性ならではの働き方や女性用の設備（トイレ、更衣室等）が議論され、体力、力不足の対策として、「女性の体格にあった工具、機器等を活用する」が取りまとめられる見込み。



女性が活躍するための平成28年度 of 取り組み

（新規 H28:10,000千円【P】）

➤ 自動車整備業はほとんどが男性の業種であったため、工具、機器に男性用、女性用の考え方はない。そのため、事業者が新しく「女性の体格にあった工具、機器等」の導入を検討しても、女性が活用しやすい工具、器具の判断基準がない。

➤ よって、既に活躍されている女性整備士等への聞き取り及び工具、機器メーカー等への調査により、女性が使いやすい工具、機器等の指針をとりまとめ、関係業界などに周知する。

女性でも使いやすい工具、機器等の例

倍力ペンチ



通常より小さな力で切断することができるペンチ。



184

インパクトレンチ。
エア圧等でボルト等を
回すため、男女の力
の差は関係ない。



電動グリースガン。
ホース部分のみを動かす
ことにより、通常のグリー
スガンより作業が楽にな
る。また、グリース交換が
カートリッジ式になってお
り、手が汚れない。



男女の身長差を考慮したリフト。
(リフトスイッチの位置を任意に
変更できるなど。)



超ロングストレートめがねレンチ
セット (3本組)



通常より小さな力で回すこ
とができるレンチ。

【その他】

- 女性にも使いやすい作業着(上下分離型 等)

工具、機器の取りまとめにより想定される効果

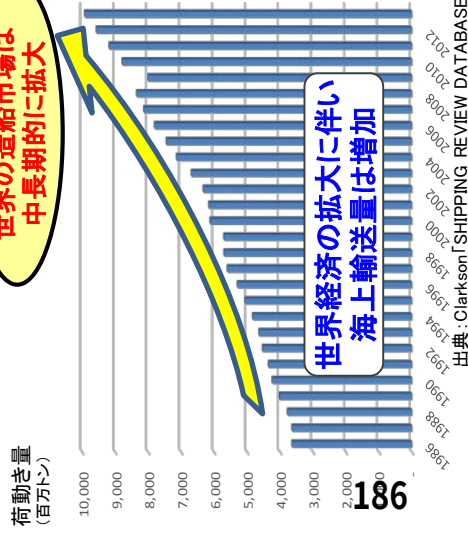
- 特に男性のみの事業場において、女性の受入れの体制を整えやすくなる。
- 基準の明確化により、工具メーカー等が女性が使いやすい工具であることを明記できる。
- 自動車整備士の試験用器具や自動車整備士の養成施設の機器を改善することにより、女性の自動車整備士資格の取得を促進する。
- 女性が使いやすい工具、機器等は、シルバークリスタル人材における力不足対策、作業の生産性の向上などにおいても効果が期待できる。

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	3. 女性活躍のための環境整備
中項目	(4) 地域社会における女性の活躍推進
小項目	⑤ 特にこれまで女性の参画が少なかった分野（建設業、消防団、タクシー、トラック、バス、自動車整備業、林業、鳥獣保護管理等）において、希望する女性がその担い手として就業・定着し、活躍できるよう、女性も働きやすい職場環境の整備や関連する調査研究、活躍する女性の表彰、業務の魅力に関するPR、就業継続に向けた企業等関係者への研修など、各分野に応じた多様な取組を推進する。【国交省、総務省（消防庁）、農水省、環境省】
該当施策名 (事業名)	地域の経済・雇用を支える造船業の担い手の確保・育成
該当施策の背景・目的	○我が国の造船業は、省エネ等の性能や品質に優れた船舶を建造・輸出し、裾野の広い労働集約型産業として地域の経済・雇用に貢献している重要な産業。中長期的な成長が見込まれる世界の造船市場において、その成長を我が国造船業の更なる発展に結びつけるためには、技術力の更なる向上と合わせて、それを支える技術者・技能者の確保・育成が極めて重要である。 ○造船業では、これまで女性の活躍は十分進んでいないが、女性が無理なく活躍できる作業や職種も多くあり、大きな潜在力として期待される女性の就業・活躍を促進するための取組みを推進する必要がある。
該当施策の政策手段の分類	A 法令・制度改正 B 税制改正要望 C 予算 27 年度予算： 9,688 千円 ※内数である場合はその旨記載。 28 年度要求方針： 新規 拡充 継続 ※該当するものに○をしてください。 D 機構定員要求 E その他（具体的に：)
該当施策概要	・造船業を目指す若者の拡大を図るため、女性を含む学生・生徒や教員が造船の「ものづくり」の魅力を理解を深めるためのインターンシップ等の地域の取組みへの支援 ・造船業の労働災害を減らすとともに、魅力向上を図るための、女性や未熟練者への配慮等を含む、造船業に特有の作業環境における効果的・持続的な労働安全対策の促進 ・男性中心の力仕事のイメージが強い造船業において、女性の就業・活躍の拡大を図るための、女性が就労しやすい現場環境づくりに向けた先駆的な取組みの促進
問い合わせ先 部局課	国土交通省 海事局船舶産業課

- 世界の造船市場の拡大を、我が国造船業及び地方経済・雇用の持続的な発展に結びつけるため、有能な人材の確保が不可欠。
- 大きな潜在力である「女性の力」の発揮のための取組みが重要。

世界の造船市場の拡大

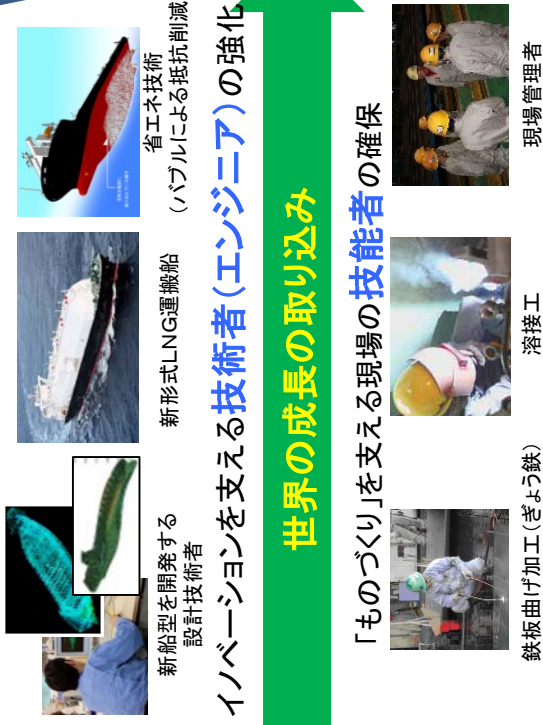
世界の造船市場は
中長期的に拡大



イノベーションを支える技術者(エンジニア)の強化

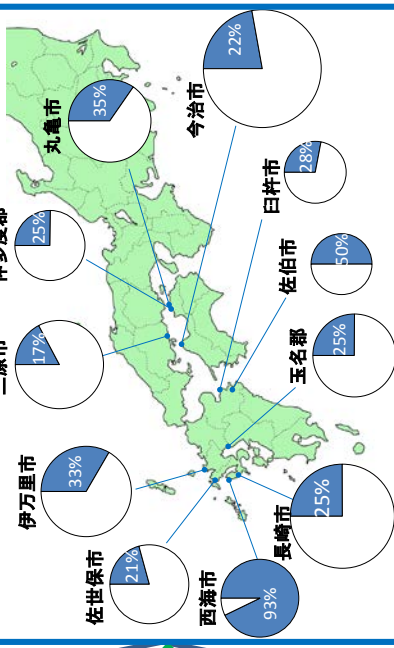
世界の成長の取り込み

「ものづくり」を支える現場の技能者の確保



地域の経済の発展・雇用拡大

製造業全体に占める造船業の生産高の割合



出典：製造業全体は、経済産業省「平成25年工業統計調査」
造船業は、国土交通省調べ

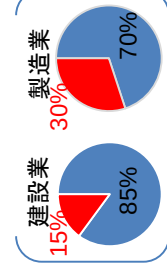
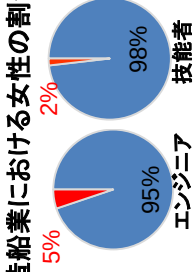
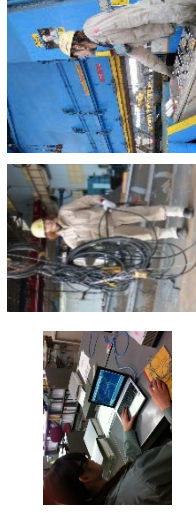
女性の参画・活躍の拡大による体質・体制強化

- 造船業では、女性が無理なく活躍できる作業や職種も多く、大きな潜在力として期待。

- 造船業では、これまで女性の活躍は十分に進んでいない。
造船業における女性の割合

造船業が盛んな地域では、造船業への就業を希望する主婦層は4～5割

※広島、香川、愛媛、佐賀、長崎、熊本、大分における女性へのアンケート調査(2015年)による。



出典：製造業、建設業は、「2014年度労働力調査」、造船業は国土交通省調べ

施策の内容

- ✓ 女性を含む学生・生徒や教員が造船の「ものづくり」の魅力の理解を深めるためのインターンシップ等の地域の取組の強化。
- ✓ 造船業の労働災害を減らすとともに、魅力向上を図るための、女性や未熟練者への配慮等を含む、造船業特有の作業環境における効果的・持続的な労働安全対策の推進。
- ✓ 造船業の男性中心の力仕事の強いイメージ払拭し、女性の就業・活躍拡大のための職場環境作りに向けた先駆的な取組みの促進。

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	3. 女性活躍のための環境整備
中項目	(4) 地域社会における女性の活躍推進
小項目	⑤ 特にこれまで女性の参画が少なかった分野（建設業、消防団、タクシー、トラック、バス、自動車整備業、林業、鳥獣保護監理等）において、希望する女性がその担い手として就業・定着し、活躍できるよう、女性も働きやすい職場環境の整備や関連する調査研究、活躍する女性の表彰、業務の魅力に関するPR、就職継続に向けた企業等関係者への研修など、各分野に応じた多様な取組を推進する。
該当施策名 (事業名)	「緑の新規就業」総合支援対策のうち多様な担い手育成事業 (平成27年度は「緑の雇用」現場技能者育成対策事業の一部)
該当施策の背景・目的	農山村における人口減少が進む中、林業の成長産業化を図るためには多様な担い手（林業後継者）の育成、確保が必要。 しかし、担い手として期待される女性の林業従事者数は約3千人であり、林業従事者全体の6%程度に留まっているため、女性の林業への参入、定着を支援していくことが重要。
該当施策の政策手段の分類	A 法令・制度改正 B 税制改正要望 C 予算 27年度予算：5,683,241千円の内数 ※内数である場合はその旨記載。 28年度要求方針： 新規 拡充 継続 <u>調整中</u> ※該当するものに○をしてください。 D 機構定員要求 E その他（具体的に： ）
該当施策概要	林業従事者の94%が男性であり、「重労働の林業は女性には不向き」といった認識がある中、林業に従事している女性のネットワーク化等を通じ、林業の担い手として期待される女性の林業従事者の増大と定着を支援。
問い合わせ先 部局課	農林水産省 林野庁 森林整備部 研究指導課

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	3. 女性活躍のための環境整備
中項目	(4) 地域社会における女性の活躍推進
小項目	⑤ 特にこれまで女性の参画が少なかった分野（建設業、消防団、タクシー、トラック、バス、自動車整備業、林業、鳥獣保護管理等）において、希望する女性がその担い手として就業・定着し、活躍できるよう、女性も働きやすい職場環境の整備や関連する調査研究、活躍する女性の表彰、業務の魅力に関するPR、就業継続に向けた企業等関係者への研修など、各分野に応じた多様な取組を推進する。
該当施策名 （事業名）	鳥獣保護管理の担い手確保促進事業
該当施策の背景・目的	近年、二ホンジカやイノシシ等の鳥獣による生態系及び農林水産業への被害が深刻化している一方で、狩猟者の減少・高齢化により、鳥獣保護管理の担い手が不足している。 このため、環境省では、狩猟免許の取得促進を目的としたフォーラムを開催し、若手ハンターによるパネルディスカッション等を行い、男女を問わず、幅広い世代に、狩猟の魅力と社会的役割を理解していただき、鳥獣保護管理の新たな担い手確保を推進している。
該当施策の政策手段の分類	A 法令・制度改正 B 税制改正要望 C 予算 27年度予算：767,505千円（内数） D 機構定員要求 E その他（具体的に：
該当施策概要	本事業においては、狩猟免許の取得促進を目的とした「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」を開催し、狩猟に関するテーマトークや若手ハンターによるパネルディスカッションのほか、ジビエ料理の試食会、会場での関連ブース出展等により、狩猟の魅力と社会的役割について、主に若い世代を中心に普及啓発している。平成24年度から全国22箇所で開催しており、これまで4800人を越える方々に参加いただいた。 当該フォーラムにおいては、トークセッションやパネリストに女性ハンターも積極的に参加してもらうことによって、女性の参画・活躍の拡大に努める。
問い合わせ先 部局課	環境省 自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

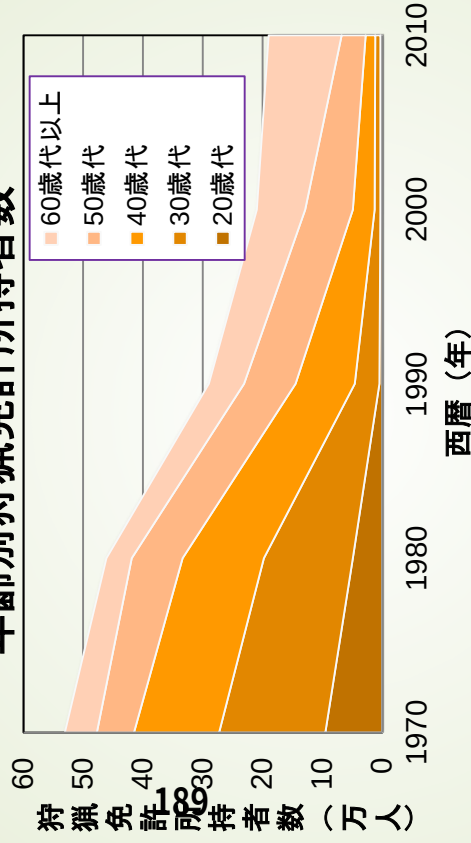
鳥獣保護管理の担い手確保促進事業

二ホンジカやイノシシ等の鳥獣による生態系及び農林水産業への被害が深刻化している一方で、**狩猟者の減少・高齢化により、鳥獣保護管理の担い手が不足**している。

狩猟免許の所持者数は、

- ・約53万人(1975)から約18万人(2012)に減少
- ・約85%が50歳代以上と高齢化

年齢別狩猟免許所持者数



女性の狩猟免許所持者は2,037人 (2012年)
で**全体のわずか1.1%**

⇒男女を問わず、幅広い世代に、狩猟の持つ社会的意義を理解していただき、将来の鳥獣保護管理の担い手を確保する必要

狩猟の魅力まるわかりフォーラム (2012年～)



- ・若手ハンターによるパネルディスカッションやジビエ料理の試食などを通じて、狩猟の魅力と社会的役割をPR
- ・これまで21都道府県・22箇所で開催、計約4800人以上が参加。(参加者のおよそ2割が女性)

- ・開催箇所数の増加
- ・講演者やパネリストとして、女性ハンターを積極的に招待

鳥獣保護管理に関わる分野での
女性の参画・活躍の拡大

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	3. 女性活躍のための環境整備
中項目	(5) 家事・育児など家庭生活における男性の主体的参画の促進
小項目	① 男性の育児促進のため、「男性の配偶者の出産直後の休暇取得率 80%」という少子化社会対策大綱の成果目標の実現に向けた具体的な取組を進める。～男性の育児休業取得促進に向けた制度の在り方に関する検討、～男性管理職等の意識改革の推進など、育児休業制度等を活用しやすい職場環境とするための実効性のある取組を進めるとともに、男性の育児休業取得・仕事と育児の両立の促進等を図る。 ②～育児参画等に係る全国的なキャンペーンを展開し～
該当施策名 (事業名)	イクメンプロジェクト
該当施策の背景・目的	積極的に育児を行う男性「イクメン」を応援するとともに、男性の育児と仕事との両立支援に積極的に取り組む事業主を支援し、男性の育児休業取得を促進する。
該当施策の政策手段の分類	A 法令・制度改正 B 税制改正要望 ☒ C 予算 27 年度予算 : 49,895 千円 ※内数である場合はその旨記載。 28 年度要求方針 : 新規 ☒ 拡充 継続 ※該当するものに○をしてください。 D 機構定員要求 E その他 (具体的に :)
該当施策概要	「イクメン企業アワード」や参加型の公式サイトなどを通じて男性の育児休業取得に関する社会的な気運の醸成を図るとともに、企業及び個人に対し育児と仕事の両立に関する情報・好事例等を提供し、男性の育児と仕事の両立の促進を図る。 来年度においては、重点の趣旨を踏まえて拡充に向け検討している。
問い合わせ先 部局課	厚生労働省 雇用均等・児童家庭局職業家庭両立課

[illegible]

	・ シンポジウムの開催等を想定。
問い合わせ先 部局課	内閣府 子ども・子育て本部 少子化対策担当